

地域・保護者の皆様へ

狂言を見て、子供たちと一緒に笑いませんか？

「子供のための伝統文化・芸能体験」



狂言教室



《日時》 令和6年5月30日（木）

10：40～11：10 1～3年生

11：15～12：00 4～6年生

《場所》 八丈町立大賀郷小学校 体育館

《講師》 大藏 彌太郎 （狂言方大藏流・能楽協会理事）

吉田 信海 （狂言方大藏流）

《体験の流れ》①能楽とは

②狂言で用いられる

声の表現を体験

③狂言の鑑賞



☆狂言とは 「本狂言」と「間狂言^{あいきょうげん}」があります。

- ・本狂言は、独立した筋を持つもので、庶民性・喜劇性をもち、名もない庶民の哀歌を描き、庶民の目線で物事を見、風刺にあふれたものが多くなっています。当時の世相が反映されていますから、親しみやすく、かつ分かりやすいものとなっています。
- ・間狂言は、能の中に登場し、人物を紹介したり、舞台の展開を説明したり、時には、面白おかしくストーリーを盛り立てる役もこなします。多くは前場と後場をつなぐ役割として活躍します。

【お願い】 写真や動画撮影についてはご遠慮ください。